

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業改良普及センター

「稲作情報（第8号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第8号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。この情報はホームページ（以下URL）にも随時公開しています
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00323270/index.html>

杵島農業改良普及センター

検索

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半月	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R3 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R3 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R3 (hr)	平年比 (%)
6月	1	21.6	22.1	0.5	27.6	26.8	-0.8	16.7	18.2	1.5	21.8	56.0	257	25.9	13.8	53
	2	22.3	24.6	2.3	27.8	31.2	3.4	17.8	19.1	1.3	28.6	0.0	0	23.0	45.6	198
	3	22.8	24.4	1.6	27.9	28.0	0.1	18.7	21.8	3.1	40.9	54.0	132	21.2	13.7	65
	4	23.3	23.7	0.4	27.9	28.3	0.4	19.7	20.2	0.5	58.6	39.5	67	18.8	24.5	130
	5	23.9	24.6	0.7	28.1	31.1	3.0	20.6	20.0	-0.6	74.3	0.0	0	15.4	50.1	325
	6	24.6	25.7	1.1	28.4	31.2	2.8	21.6	22.0	0.4	84.4	36.0	43	14.1	35.0	248

○6月6半月の平均気温は、平年に比べて1℃ほど高く推移した。また、日照時間は多照傾向となった。

◀福岡管区気象台の1か月天気予報（7月1日発表）（予報期間 7月3日から8月2日まで）

向こう1か月の気温、降水量及び日照時間は、ほぼ平年並の見込みです。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：7月2日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概 要
夢しずく 6/12移植 武雄市橋町	本年値	31.5	168	6.3	37.2	<ul style="list-style-type: none"> 草丈は平年並み、茎数は平年よりやや多い。 主幹出葉数は平年並み。 葉色は平年並み。
	平年値	32.1	162	6.4	37.4	
	平年比	98	104	-0.1	-0.6	
さがびより 6/19移植 武雄市橋町	本年値	21.9	85	5.3	31.8	<ul style="list-style-type: none"> 草丈および茎数は平年並。 主稈出葉数は平年より0.2葉多い。 葉色は平年に比べてやや淡い。
	平年値	21.7	83	5.1	32.0	
	平年比	101	102	+0.2	-0.2	

※夢しずくおよびさがびよりの平年値はH21～R2の平均値。

(耕種概要)

品 種	年次	苗質		移植日 (月日)	栽植密度 (株/m ²)	備考
		苗丈	葉令			
夢しずく	本年値	14.6	3.0	6月12日	18.1	前作 大麦
	平年値	14.5	3.0	6月15日	18.4	—
さがびより	本年値	13.4	3.0	6月19日	16.0	前作 大麦
	平年値	13.7	3.3	6月21日	15.9	

3. 管内の生育状況（7月4日時点）

- 1) 七タコシヒカリ：現在、出穂期～穂揃期となっている。
本年は早いところで6月24日出穂し、出穂盛期は6月28日～30日となった。
なお、情報田の出穂期は6月30日となり、平年並みとなった。
- 2) 夢しずく（普通期）：現在、分けつ盛期である。移植盛期は6月12日～16日頃となった。
- 3) さがびより：現在、分けつ盛期である。移植盛期は6月19日～23日頃となった。
- 4) その他特記事項
 - ・6月下旬の高温少雨の影響を受けて、表層剥離による分けつ茎の発生抑制を確認した。また、麦わら（特に小麦）及び野菜の残渣によるガス害も散見された。
 - ・水深を深めに貯めたままの圃場においては、スクミリンゴガイによる食害や除草剤の葉害の発生も散見された。
 - ・移植後の気温が高めに推移したことから、雑草の発生が早い段階で確認されている。特にホタルイやコナギなどの問い合わせが増えた。

3. 今後の管理

1) コシヒカリ

(1) 水管理

- ・「コシヒカリ」は、穂揃期を迎えている。なお、積算温度による刈取り積算目安表は別紙参照。
- ・水管理は、根への酸素供給を図るためにも常時湛水するのではなく間断灌水（潤土管理）を行う。ただし、玄米の品質低下を避けるため、土壌表面が白乾しないように、好天が続く場合は必ず走り水を行う。



強風時に土壌表面が白乾した圃場での
稲の障害事例。
強風による葉の裂傷や急激な蒸散により
籾が黒く変色している。
(過去の他地区での事例より)

(2) 病虫害防除

- ・「七タコシヒカリ」は県特別栽培農産物に応じた栽培を取組んでおり、農薬成分回数9成分を
超えないような栽培管理が重要である。

①ウンカ類

- ・本年は、平年に比べ20日早い梅雨入りとなり、梅雨前線に伴い海外飛来性害虫であるウンカ類が確認されている。（表1参照）また、当管内では、5月末から水稻の株元にセジロウカの子実痕を確認しており、6月30日に実施した25株はらい落とし調査結果は表1のとおりである。

今後の発生状況に留意して場合によっては臨機防除が必要となる。

※臨機防除が必要な場合は、病害虫防除情報を追ってお知らせする（JA 営農情報として発信する）

《表1 管内におけるウンカ類の払い落とし調査結果》

調査日	セジロウンカ		トビロウンカ		ヒメビウンカ		備考
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	
6月30日							
4月5日移植	37	7	8	1	89	6	コシヒカリ(白石町) ※箱施薬剤無施用

※25 株払落とし総数を計上している。

②穂もち病

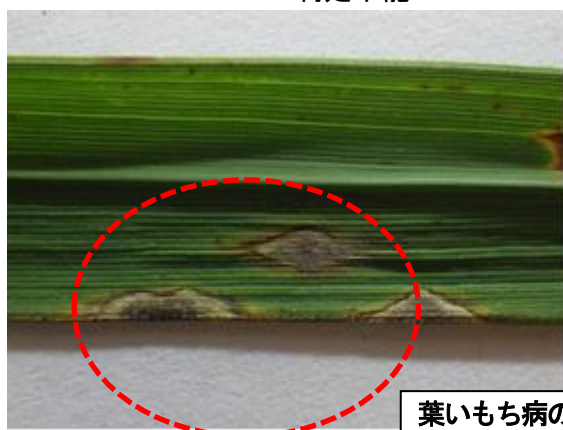
- 発生が多いと予想される場合（上位3葉に葉いもち病の病斑を確認した時）には、穂前期の防除を徹底する。ただし、七タコシヒカリは県特別栽培認証制度に応じた栽培法を実施しているため、農薬散布する前に生産管理責任者である JA 等指導機関に確認するとともに、農薬成分回数9成分を超えないように留意する。

《表2 BLASAMによる葉いもちの感染好適条件の出現状況》 県防除センターHP より

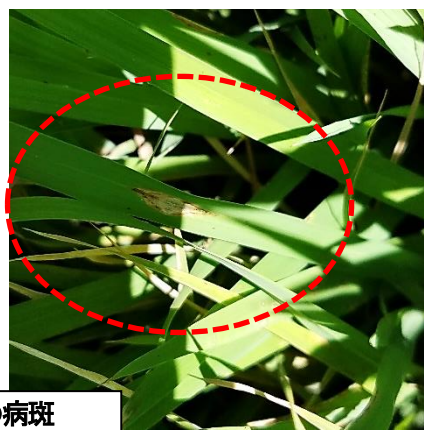
6月

	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日
白石	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊万里	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- 1: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は20℃未満)
 - 2: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は25℃以上)
 - 3: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温は15～25℃の範囲外)
 - 4: 準好適条件(湿潤時間は湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い)
- : 好適条件(湿潤時間が長く気温も適当で、葉いもちの感染好適条件が出現した)
 -: 好適条件の出現なし
 ?: 判定不能



葉いもち病の病斑



置き苗に葉いもち病斑

③斑点米カメムシ類

- 病害虫発生予察7月予報（6月30日付け佐賀県農業技術防除センター発表）では、斑点米カメムシ類の発生は「平年並」であるので、乳熟期（穂先がちよっと傾いたころ：穂前期の約10日後）の時期には薬剤防除を実施する。なお、七タコシヒカリは特別栽培認証制度に応じた栽培法を実施しているため、農薬散布にあたっては農薬成分回数9成分を超えないように注意する。

2) 普通期水稻

(1) 「夢しずく」

- ・ 移植後の断続的な降雨により常時湛水した圃場ではガスの発生が目立っている。さらに前作の残さや、麦わらが多い水田では、今後ガス（湧き）と還元（酸素不足）が進むことが予想される。「ガスの発生が著しい場合」は、除草剤処理から7日経過したら、「ガス抜き」のために半日～1日程度の落水を行う。特に、足を踏み入れずに自然に気泡が出るようであれば直ちに落水する。（表3参照）

《表3 ガス（湧き）発生程度及び対策》

湧きの程度	様相とガス程度水稻への影響	水稻への影響	ガス対策（7月上旬以降）
稀	足を踏み込んでも気泡なし	なし	必要なし
少	足を踏み込むとわずかに気泡が見られる	なし	必要なし
中	足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	落水後に用水更新
多	足を踏み込むと盛んに気泡を発生	根張り不良	落水後に用水更新を繰り返し
甚	晴天時自然に気泡発生する（ばちばちと音が聞こえる。）水田歩くと著しく気泡発生。	根伸長阻害、黄化	中耕と用水更新を繰り返し 回復後には、間断灌水（本格的夜干）



手を田んぼに入れると、気泡（ガス）が激しく発生する

⇒ガスの障害により生育抑制や古い葉の葉先に褐色の斑点が発生する。

- ・ 雑草の防除は、降雨により効果の振れが大きく、圃場によって発生状況を確認して処理時期を逸さないように行う。

移植後、気温は高く推移したことで雑草発生が早く、場合によっては除草剤の効果が十分発揮できていない圃場も確認されている。特に「ホタルイ」の発生を確認する。その場合、中後期除草剤の対応も視野に入れる。

(2) 「さがびより」・「ヒノヒカリ」

- ・ 水管理等は「夢しずく」を参照する。

(3) 病虫害防除

- ・ 7月の病虫害予察情報（6月30日付け佐賀県農業技術防除センター発表）によると主要病虫害の発生量は以下のとおり。

《表4 7月の病害虫予察情報》

作物名	病害虫名	平年比	前年比
水稻 (早期)	穂いもち	やや多	多
	紋枯病	並	並
	斑点米カメムシ類	並	並
水稻 (普通期)	葉いもち	並	並
	トビイロウンカ	並	並
	セジロウンカ	並	並
	コブノメイガ	並	やや少

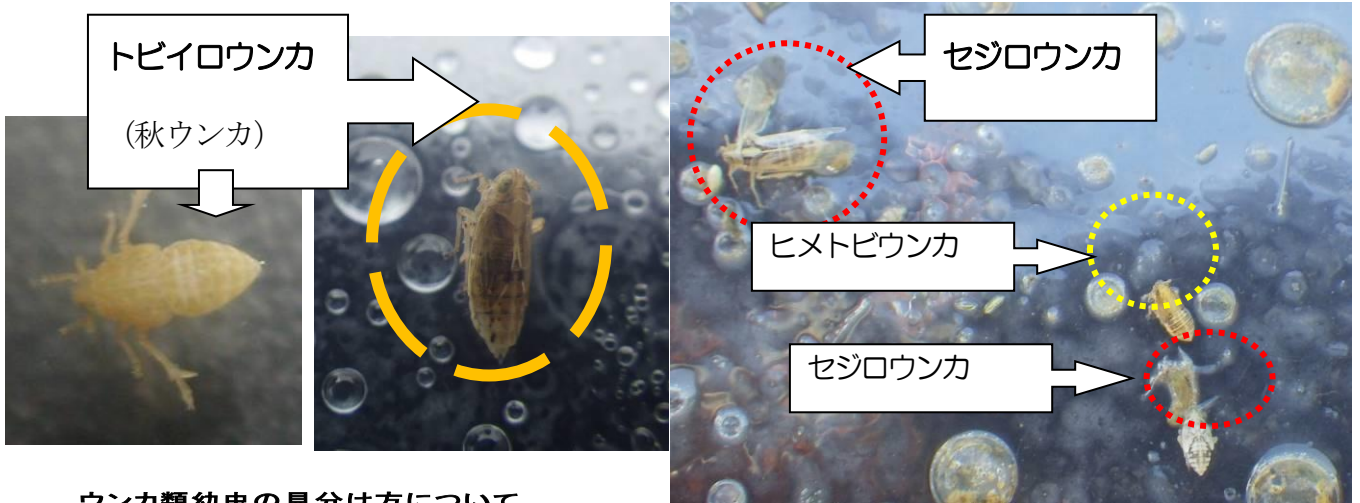
①いもち病

【普通期水稻】

- ・圃場内に放置されている補植苗は「いもち病」や「ごま葉枯病」の温床になるため、すみやかに除去する。
- ・葉いもちの発生に注意して観察し、進展型病斑が認められれば早急に臨機防除を実施する。
その場合、オリブライト粒剤等を使用する（ただし農薬摘要に留意する）
- ・窒素過多は発生を助長するので、適切な肥培管理を行う。
- ・BLASTAM 情報は別紙参照。BLASTAM（プラスタム）は、いもち病菌の感染に適した条件が表れたかを判定するモデルである。プラスタムで好適条件が現れた場合、約1週間後からいもち病の初発あるいは病斑数が急激に増加することが予測されるので注意する。

②ウンカ類

- ・セジロウンカ、トビイロウンカ、コブノメイガの誘殺状況については別紙参照。
（梅雨明けしていないので、今後の飛来状況によって留意する）。また、最新データは、佐賀県農業技術防除センター及び長崎県病害虫防除所HIPを参照する。
- ・今後の飛来状況や圃場の発生状況（移植時期や品種、箱施用剤の種類、施用の有無、圃場の場所等）によってウンカ類の発生量や増殖率が異なるため、圃場での発生状況に注意する。ゼクサロン系箱施薬剤を使用している水稻であれば現時点での防除は必要ない。



ウンカ類幼虫の見分け方について

	若齢幼虫の体色	中～老齢幼虫の体色	水面での後脚の出し方
セジロウンカ	白っぽい	灰白の斑紋	○ : 真横
トビイロウンカ	白っぽい	薄茶か茶褐色	○ : 真横～やや斜め後ろ
ヒメトビウンカ	黄褐色	淡黄色か薄茶か茶褐色 (体側の色が濃い場合あり)	○ : 斜め後ろ

《表5 海外飛来性害虫（トビイロウンカ・セジロウンカ）誘殺状況》 佐賀県農業技術防除センターHP 参照

	トビイロウンカ					セジロウンカ					コブノメイガ			
	佐賀県			長崎県		佐賀県			長崎県		佐賀県			長崎県
	佐賀市	佐賀市	嬉野	諫早		佐賀市	佐賀市	嬉野	諫早		佐賀市	白石	武雄	諫早
	ネット	ライト	ライト	ライト	ネット	ネット	ライト	ライト	ライト	ネット	トラップ	トラップ	トラップ	トラップ
5/11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	-			-
5/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
5/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			-
5/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			-
5/15	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	-	-	-	-
5/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			-
5/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			0
5/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			0
5/19	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-	-	-	0
5/20	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	-			0
5/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			0
5/22	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-	-	-	0
5/23	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	-			0
5/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			0
5/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			0
5/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
5/27	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1			0
5/28	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-			0
5/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
5/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			0
5/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			0
6/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0
6/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1
6/3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	7	0			0
6/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			0
6/6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0			1
6/7	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0			0
6/8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
6/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			3
6/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			0
6/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
6/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
6/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
6/17	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0			0
6/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/20	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0			0
6/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
6/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1
6/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/27	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			0
6/28			0	0	0			0	0	0	0			0
6/29			0	0	0			0	0	0				0
6/30			0	0	0			0	0	0				0

4. 台風・大雨対策

- ・台風対策は、水稻の生育ステージによって異なるが、本田移植後（活着期以降）は、強風による水稻の茎葉の水分収奪や損傷を防止するため、必ず深水管理を行う。併せて、台風通過後は、新しい水と入れ替え、こまめな間断灌水や浅水管理を行って根の機能回復に努める。
- ・近年、集中豪雨による冠水で、クリーク水の流入や、深水状態が続くことにより、スクミリンゴカイの被害拡大が懸念される。そのため、用排水の管理をきめ細かく実施するとともに、食害が多い場合はメタアルデヒド剤等で防除する等の対策を行う。

令和3年産

七夕「コシヒカリ」収穫期適期積算表（アメダス観測地，白石）

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会作物部会
杵島農業改良普及センター
令和3年7月4日現在

月	日	平均気温		出穂期（月/日）					
		平年	R3	6/24	6/26	6/28	6/30	7/2	7/4
6	24	24.0	24.1	出穂期					
	25	24.2	24.7	25					
	26	24.3	24.9	49.6	出穂期				
	27	24.4	25.7	75	26				
	28	24.6	25.4	101	51	出穂期			
	29	24.8	25.8	127	77	26			
	30	24.9	26.5	153	103	52	出穂期		
7	1	25.1	28.0	181	131	80	28		
	2	25.2	26.9	208	158	107	55	出穂期	
	3	25.4	25.5	233	184	133	80	26	
	4	25.5	28.5	262	212	161	109	54	出穂期
	5	25.7		288	238	187	135	80	26
	6	25.8		313	264	213	160	106	52
	7	25.9		339	290	239	186	131	77
	8	26.1		365	316	265	212	158	104
	9	26.2		392	342	291	239	184	130
	10	26.3		418	368	317	265	210	156
	11	26.5		444	395	344	291	237	183
	12	26.6		471	421	370	318	263	209
	13	26.7		498	448	397	345	290	236
	14	26.8		525	475	424	372	317	263
	15	26.9		551	502	451	398	344	290
	16	27.1		579	529	478	426	371	317
	17	27.2		606	556	505	453	398	344
	18	27.3		633	583	532	480	425	371
	19	27.4		660	611	560	507	453	399
	20	27.5		688	638	587	535	480	426
21	27.6		716	666	615	563	508	454	
22	27.7		743	694	643	590	535	481	
23	27.7		771	721	670	618	563	509	
24	27.8		799	749	698	646	591	537	
25	27.9		827	777	726	674	619	565	
26	27.9		855	805	754	702	647	593	
27	28.0		883	833	782	730	675	621	
28	28.1		911	861	810	758	703	649	
29	28.1		939	889	838	786	731	677	
30	28.1		967	917	866	814	759	705	
31	28.2		995	945	894	842	787	733	
8	1	28.2		1,023	974	923	870	815	761
	2	28.2		1,051	1,002	951	898	844	790
	3	28.3		1,080	1,030	979	927	872	818
	4	28.3		1,108	1,058	1,007	955	900	846
	5	28.3		1,136	1,087	1,036	983	928	874
	6	28.3		1,165	1,115	1,064	1,012	957	903
	7	28.3			1,143	1,092	1,040	985	931
	8	28.2				1,120	1,068	1,013	959
	9	28.2					1,096	1,041	987
	10	28.2						1,070	1,016
	11	28.1							1,044
	12	28.1							

◎ コシヒカリ収穫適期の目安

● 積算気温による目安

最低 850℃

～

最高 930℃



< 収穫のポイント >

積算表はあくまで目安です。
気温が高く推移すれば予想より早まり、
気温が低く推移すれば予想より遅くなります。
圃場での熟れぐあいを確認したうえで、
収穫日を決定します。

早期落水は充実不足による「ヤセ米」や、
「屑米」、「死米」が発生しやすく、品質低下
の原因となりますので、必ず間断灌水を実
施して、根の活力維持に努めてください。

コンバイン収穫では、麦などの異種穀粒
や異物が混入しないように清掃点検を行
いましょう。

日中の高温条件での収穫となり、籾水分
も高いので、収穫後はできるだけ速やかに
通風・乾燥を行きましょう。一時堆積中の
籾の穀温が高くなり、熱く感じられるときは
ヤケ米発生となりやすく危険です。



< 収穫適期の目安 >

◎ 穂軸の先端(穂先)から1~2cmが枯れ、穂元の青籾が5~7粒
残っている状態で、籾をツメで押してもつぶれなくなった時。

◎ 籾水分28%以下。

・収穫は、穀粒水分30%以下に低下してから始まります。籾水分27%~28%の頃が刈り取りの中心となり、**気温の高い早期作では水分の低下が早く、籾水分25%未満(積算気温で1,000度以上)になると、刈遅れによる品質低下が目立ってきます。**

・早刈りは、玄米の充実不足による「青未熟粒」や「死米」が発生しやすくなります。

「青未熟粒」が多いと食味が劣り、また収量も低下しますので、早刈りは避けましょう。

・遅刈りは、「胴割米」や「茶米」、「穂発芽粒」が発生しやすくなり、品質低下の原因となりますので刈遅れにならないように注意してください。
活き青米は5~10%程度入っている方が玄米の光沢が良く、外観品質も良くなります。